

News Release

2026年5月8日

この資料は BASF が 2026 年 4 月 29 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

軟包装材料向けの新しい ecovio®ポートフォリオ: 有機リサイクルおよび紙リサイクルに対応する多様なバリア層のオプションを提供

- 紙やプラスチック基材への押出コーティングやフィルムラミネート加工に適し、家庭用コンポストでの堆肥化可能な認証取得済みの ecovio®グレード
- 油、液体、酸素、水蒸気に対して調整可能な、単層または多層バリア
- 日用消費財(FMCG)の包装向け: 食品・飲料、パーソナルケア製品、ヘルスケア用品、ペットフード
- **BASF 出展: Interpack、5月7日~13日、ドイツ デュッセルドルフ、ホール 10、ブース A44**

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、フレキシブルなバリア包装において高まるリサイクルへのニーズに対応するため、認証取得済みの生分解性材料、ecovio®のポートフォリオを拡充します。このポートフォリオの拡張により、軟包装材料メーカーやブランドオーナーは、用途に求められる機能性、加工技術、ならびに法規制の要件に応じて、バリア性能、有機リサイクルや紙リサイクルといった廃棄時の処理方法を選択できるようになります。家庭用コンポストで堆肥化可能な認証取得済みの ecovio®グレードは、紙やプラスチック基材をベースとしたさまざまなバリア構造を実現するために相互に組み合わせて使用することができ、従来の包装ソリューションと同等の高い性能を確保しながら、同時にサステナビリティの向上に大きく貢献します。

この製品ポートフォリオは、食品・飲料、パーソナルケア製品、ヘルスケア用品、ペットフードなど、幅広い日用消費財(FMCG)の包装用途に適しています。

新しい ecovio®ツールボックスは、さまざまな包装技術に対応した、すぐに使用できるソリューションで構成されており、油脂、油分、ワックス、液体に対し、用途に応じたバリア調整が可能です。また、酸素や水蒸気に対する高いバリア性を備えると同時にシーラント層としての機能も果たします。既存の製造設備での加工も可能です。ecovio®の各種グレードは、押出コーティング、フィルムまたはシートの押出成形に適しているほか、押出・接着・熱によるラミネート加工にも対応しており、単層構造および多層構造のいずれにも適用可能です。

この新たなポートフォリオにより、超薄型の二軸延伸フィルムの製造も可能となり、家庭用コンポスト対応の包装ソリューションに新たな選択肢が広がります。食品接触適合認証を取得した ecovio®は、強度などの機械的特性に加え、高い透明性を含む優れた外観特性を備えています。

ブランドオーナーにとっての新たな柔軟性: 高バリア性軟包装材を家庭用コンポストで堆肥化可能

BASF のグローバルビジネスマネジメント、バイオポリマー担当のマイケル・ベルンハルト・シックは次のように述べています。「新しい ecovio®ポートフォリオによって、軟包装材メーカーに対して、設計の自由度を高めるモジュール型の材料ツールボックスを提供します。これにより、用途ごとの要件やサステナビリティ目標に応じて、バリア性能、加工技術、リサイクルの選択肢を柔軟に最適化することが可能になります。これは、BASF とともに高性能な包装ソリューションを開発するコンバーターやブランドオーナーの皆さまを支援すると同時に、製品の開発段階から廃棄時の処理方法を検討できるようになります。Interpack 見本市では、ecovio®を使用して高バリア性を備え、かつ家庭用コンポスト化も可能な軟包装品をどのように設計できるのか、その多様な可能性をご紹介します。また、プラスチックや紙といったさまざまなバリューチェーンにおける、既存用途の実際のサンプルも展示します。」

認証取得済みの生分解性材料 ecovio®は基材やパッケージのデザインに応じて、さまざまな廃棄処理方法に対応します。紙や板紙をベースとしたパッケージ構造は、既存の紙リサイクルシステムを通じて、高い繊維回収率でリサイクルが可能です。ま

た、包装に食品残渣が付着している場合は、堆肥化による有機的なりサイクルをすることもできます。ecovio®を使用した柔軟なプラスチック包装は、産業用コンポストおよび家庭用コンポストのいずれの環境においても有機リサイクルが可能であり、残留性のあるマイクロプラスチックを生成しません。ecovio®はグレードに応じて、最大 80% のバイオベース含有率を有する製品、または認証済みのバイオマス・バランス材料として提供されています。

新しい ecovio®グレードを用いることで、さまざまな食品や原材料を対象とした幅広い FMCG 包装材にバリア機能を設計することが可能です。パウチ、小袋、トレー、ボックスなどの包装形態において、高温・低温・乾燥品・固形物・液体・脂肪分を含む食品に対応でき、コーヒー、塩味スナック、シリアル、チョコレートバーから、アイスクリーム、ソース、ケチャップ、マヨネーズ、さらには肉、魚、チーズに至るまで幅広く使用できます。またシャンプー、ボディローションなどのパーソナルケア製品にも適しています。

Interpack 2026 に出展する BASF

BASF は、2026 年 5 月 7 日から 13 日までドイツ・デュッセルドルフで開催される Interpack 見本市において、包装産業向けの幅広いソリューションを展示します。会期中は、ホール 10・ブース A44 にて、BASF のバイオポリマー・チームが来場者の皆さまをお迎えします。

詳細情報: www.ecovio.basf.com/flexiblepackaging

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部について

BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、持続可能性と高性能を両立させることで、プラスチック業界の変革をリードしています。材料に関する専門知識、深い業界知見、そして幅広い製品ポートフォリオを活かし、プラスチックのライフサイクル全体にわたる包括的なソリューションを提供するパートナーとして選ばれています。専任のマテリアルフォーカスチーム、強力な研究開発力、そしてお客様に近い場所に展開するグローバルな生産ネットワークを通じて、地域や業界特有のニーズに対応した最適なソリューションを提供しています。当社の製品は、自動車、建築、消費財、産業用途といった主要分野における性能と効率の向上に貢献しています。パートナーの皆さまと共に、より循環型で持続可能な未来に向けた #OurPlasticsJourney を歩んでいます。2025 年、パフォーマンスマテリアルズ部門の世界売上高は 64 億ユーロとなりました。

LinkedIn の #OurPlasticsJourney にぜひご参加ください:

https://on.basf.com/PM_LinkedIn

ニュースレターの登録はこちら:

https://on.basf.com/PM_Newsletter

詳細情報: <https://www.performance-materials.basf.com>

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 108,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション & ケア)、スタンドアロン事業の事業セグメント(サーフェステクノロジー、アグロソリューション)から成ります。2025 年の BASF の売上高は約 600 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は <https://www.basf.com/global/en.html> をご覧ください。